

環境基本計画基本目標			安全で安全に暮らせるまち						
環 境 保 全 項 目			さわやかな空気と静けさを確保する						
環境基本計画	Nº	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
1-1		騒音調査及び測定	騒音・振動・悪臭の防止	定期的な観測により、種類ごとに基準と比較し達成率を算出し、監視します。	市内一般環境、道路、新幹線について、騒音の状況を把握するため調査を実施する。この結果は、環境レポート等で公表していく。	一般環境については11地点、道路騒音については7地点、新幹線騒音については2地点。それぞれ基準と比較し、状況を把握する。	◎	予定通り実施。	生活環境課
1-1		市営駐車場の管理運営	環境にやさしい都市基盤・都市施設の整備	パークアンドライドを促進します。	快適に利用できる駐車場の管理運営	市営駐車場駐車台数 年310,000台	○	お城口駐車場84,846 温泉口駐車場27,521 お城口第二駐車場191,635 計304,002	管理課
1-1		循環バス運行施策	1 きれいな空気の確保 1 環境にやさしい都市基盤・都市施設の整備	15 公共交通機関であるバスの利用促進を図り、自家用車の使用を軽減させます。	「上田市循環バス」と「オレンジバス」の利用者が増加するよう施策を検討し、利用啓発活動を行う。	循環バス等利用者 目標60,000人	◎	循環バスについては、新たにバス停を増設することにより、輸送人員の増加に向けて取り組むとともに、オレンジバスについても、時刻表の作成、配布等を通じて、利用促進PR、啓発活動に努めた。	地域交通政策課

環境基本計画基本目標			安全で安全に暮らせるまち						
環 境 保 全 項 目			きれいな水と安全な土壌を確保する						
環境基本計画	Nº	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
1-2		水質調査及び検査	きれいな水の確保	定期的な調査により、市内の水質の環境基準の達成について監視します。	市内河川及び地下水の調査地点について、水質状況を把握するため調査を実施する。この結果は、環境レポート等で公表していく。	河川については計35地点。地下水については計12地点。それぞれ環境基準と比較し、状況を把握する。	◎	予定どおり実施。	生活環境課
1-2		合併処理浄化槽設置整備事業	きれいな水と安全な土壌を確保する	公共下水道・農業集落排水の整備区域外において、合併処理浄化槽の設置を促進します。	申請に対する補助金の交付	合併処理浄化槽設置整備事業での新設10基	◎	平成24年度実績は、上田：10基（5人槽：7基、7人槽：1基、30人槽：1基、51人槽以上：1基）、丸子：2基（5人槽：1基、51人槽以上：1基）、真田3基（5人槽：2基、30人槽：1基）、武石：1基（5人槽：2基）の計17基で、補助額実績は12,613,000円です。	生活環境課
1-2		下水道の普及促進	きれいな水の確保	公共下水道事業、農業集落排水事業等を推進します	・取付管立会い時の啓発（随時） ・苦情対応戸別訪問の実施（随時） ・下水道未接続者に対する啓発文書発送 ・効果的な水洗化促進策の検討	水洗化率 ・平成24年度末の下水道水洗化（利用）率を88.1%に向上させる 確認申請件数 ・880件を目標とする。	○	・水洗化率については88.0%と目標の88.1%をほぼ達成することができた。 ・新規確認申請件数については723件と目標の880件を達成することができなかった。 ・事業予定していなかったが開閉検査業務職員を活用し、未接続宅への接続促進のリーフレット配布ができた。	サービス課
1-2		漏水調査	水資源の有効活用	有収率の向上	漏水調査 戸別音聴調査箇所10,000箇所	漏水箇所数及び推定漏水量	○	菅平地区の有収率向上を目的に、上田地区の予算を流用したため、上田地区の漏水調査を監視型漏水調査方法に変更し、調査は2月末までに終了。結果、3箇所（推定漏水量6,395㎥/年）の漏水が発見され、修理を4月に完了予定。	上水道課
1-2		鉛給水管布設替え	安心安全な水道	鉛給水管の解消	鉛給水管布設替 計画修繕対応 500件 故障修繕対応 100件 水道本管工事対応 件 計 600件	布設替件数	○	計画修繕対応で403件 故障修繕対応で79件 計482件	上水道課
1-2		公共下水道事業、農業集落排水事業	きれいな水と安全な土壌を確保	公共下水道事業、農業集落排水事業を推進する	○管渠の整備 L＝6.8 km ○処理場の整備 南部終末処理場 増設（汚泥処理施設） 上田終末処理場 改築（汚泥処理施設）	普及率 平成24年度末目標96.9%（上田地域74.3%）	○	管きょ整備については、L=3.1km（繰越1.4km）の整備を実施した。目標の延長に至らなかった主な理由は、補助事業費が満額で交付されなかったことや他事業との関連により工事実施ができなかったことによる。 処理場整備については、上田・南部終末処理場共に予定どおり完成した。 ホタルマップは、9月下旬に完成し10月から広報活動を行った。	下水道課
1-2		浄水場運転管理	安心、安全な水道水の提供	環境に配慮した浄水場管理	①浄水場、施設における消毒剤の適正な注入 ②需要量に見合った適正な取水管理 ③浄水場泥土の適正な処理処分委託 ④河川水質検査の実施	①浄水場元出し水 通常0.8mg／ℓ以下 末端給水栓水 通常0.1mg／ℓ以上 ②配水量の120%程度 ③発生泥土の650 ㎡程度を改良土等、処理処分委託 ④検査回数	○	①達成 元出し最大 染色 0.67mg/l (10/15) 石舟 0.72mg/l (10/10) 末端 0.1mg/l 以上保持 ②概ね達成下半期平均 121%年間平均 123% ③概ね達成下半期処分量約207.8 ㎡中約107.5 ㎡委託（約52%）年間処分量 約770 ㎡中約542.5 ㎡委託（約70%） ④達成 月1回実施	浄水管理センター
1-2		浄水場運転管理	安心、安全な水道水の提供	環境に配慮した浄水場管理	①浄水場、施設における消毒剤の適正な注入 ②河川水質検査の実施	①浄水場元出し水 通常0.8mg／ℓ以下 末端給水栓水 通常0.1mg／ℓ以上 ②検査回数	◎	①概ね達成 元出し最大 腰越浄水場 11/19 0.76 鹿教湯浄水場 10/25 0.75 上 OK ②概ね達成 毎月実施済み 末端0.1以上	浄水管理センター（丸子管理係）

環境基本計画基本目標			安全で安全に暮らせるまち						
環 境 保 全 項 目			有害化学物質による汚染を未然に防止する						
環境基本計画	No	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
1-3		アスベスト飛散防止対策事業（民間建築物）	飛散性の高い吹付けアスベストの大気中への粉塵の排出及び飛散を防止する。	市民の健康被害の防止と安全な生活環境を確保すること。	・市広報・行政チャンネル等でのPR ・分析費の補助件数 13件 ・除去費の補助件数 1件 ・確認申請台帳による物件調査	・補助件数	◎	・広報うえた8/1号に掲載。 ・対象建築物の調査を行い、9月より戸別に訪問し、吹付けアスベストの使用状況の把握。	建築指導課

環境基本計画基本目標		自然・いきもの・人が共生するまち							
環 境 保 全 項 目		森や里山を守り・親しむ							
環境基本計画	No	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
2-1		造林事業	森林の育成・保全	県の森林税等を活用して私有林150haの間伐を推進し、健全な森林を育成する。	①私有林間伐150haの実施	①間伐の実施面積	◎	今年度は、市内12地区の211haにおいて事業を実施しました。	森林整備課
2-1		松くい虫防除対策事業	松くい虫被害を防除し、健全な松林を育てる	被害木伐倒薬剤処理 V=8,000m3	①被害木8,000m3の伐倒薬剤処理	①被害木の処理量	◎	松くい虫被害の防除対策として、市内全域において、V=8,376㎡の被害木の伐倒駆除を実施しました。 (国補事業 V=4,218㎡ 県補事業 V=3,443㎡ 市単事業 V=715㎡)	森林整備課

環境基本計画基本目標		自然・いきもの・人が共生するまち							
環 境 保 全 項 目		水辺環境を守り・親しむ							
環境基本計画	No	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
2-2		① 多自然型水路整備 ②農地・水保全管理支払交付金	1 自然・生き物・人が共生するまち 5環境を思いやる人があふれるまち	① 農業用水路において、環境に配慮した工法を推進します。 ② 非農業者も加えた地域の協働による、農業施設や環境の維持保全活動を支援します。	① 多自然型水路を1ヶ所整備する。 ② 13組織を支援する。	① 多自然型水路を1ヶ所整備する。 ② 地域住民全体で環境意識を共有する。	○	①多自然型水路の要望がなかった。 ②事業組織が13→16に増加。	土地改良課

環境基本計画基本目標		自然・いきもの・人が共生するまち							
環 境 保 全 項 目		農環境を守り・親しむ							
環境基本計画	No	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
2-3		担い手への農地の利用集積による優良農地の確保	農地の保全・活用	農地の保全・活用を図る。(数値目標 平成24年度 80ha)	担い手農家への農地の利用集積の促進	農用地流動化促進奨励金対象面積 24年度目標 80ha	◎	関係機関と連携し、農地の流動化（農地の貸借）を促進した、農地貸借期間満了に伴う更新、新規の貸借が増加した。目標面積を越える117haとなった。	農政課
2-3		稲倉棚田の保全	棚田の保全と活用	棚田の景観を保全します。(荒廃した棚田の有効活用)	①田植体験の受け入れ ②棚田オーナーの取組 ③ほたる火まつりの実施	①田植体験の受け入れ ②棚田オーナーの取組	△	①埼玉県の大宮北高校（323人）、東京都の銀座中学校（107人）の2校を受入れ田植え体験を実施。 ②首都圏を中心に棚田オーナー31組を受入 ③7月23日（土）ほたる火祭りを実施、約500来場 ④案山子祭りの実施（50体） ⑤大宮北高校、オーナー等の稲刈り体験の実施（10月6・7日を中心に）	農政課
2-3		遊休荒廃農地の解消等による優良農地の確保	農地の保全・活用	農地の保全・活用を図る（数値目標 平成24年度 遊休荒廃農地解消面積 5ha）	遊休荒廃農地の解消（遊休荒廃農地解消対策委員会、地区審単位での解消）	補助事業等による遊休荒廃農地解消目標面積 23年度末10ha/年 ⇒24年度目標約5ha/年 （行政と連携して解消）	◎	前年度実施した遊休農地の利用状況調査及び意向調査の結果を活用し、関係機関連携の下で6地区、10.6haの解消を図った。	農業委員会事務局

環境基本計画基本目標			地域資源を活かし地球にやさしいまち						
環 境 保 全 項 目			循環型社会の形成に努める						
環境基本計画	No	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
3-1		ごみ減量・再資源化対策事業①	循環型社会の形成に努める	廃棄物を減量し、リサイクルを推進します	1 剪定枝木類の資源化 2 ごみ減量化機器等購入費補助金 3 焼却灰のリサイクル 4 生ごみ堆肥化モデル事業	・可燃ごみの減量目標 前年度比△350トン/年(△1%) ・資源化率20%以上	○	1 剪定枝木類の資源化実績 491トン(下半期212トン) 2 ごみ減量化機器等購入費補助金の交付 実績(24年度) ・ごみ減量化機器 254台 ・ごみ減量化基材 948袋 3 焼却灰リサイクル実績 年間793トン(下半期439トン) 4 生ごみ資源化実績(24年度) 年間5.45トン(下半期3.59トン) ●可燃ごみの量 前年度比192トン(0.5%)増加 ●資源化率 18.9%	廃棄物対策課
3-1		ごみ減量・再資源化対策事業②	循環型社会の形成に努める	ごみ減量・リサイクル活動の普及啓発を推進します	1 市民への周知、啓発 2 講座等の開催 3 市民、事業者の環境保全活動の支援	・可燃ごみの減量目標 前年度比△350トン/年(△1%) ・資源化率20%以上	○	①② 随時実施 ③ エコハウスわくわく講座の開催実施回数 18回、参加者数 延べ101人 ④ 新規認定なし ⑤ 広報うえだ(2/16号)に記事を掲載 ⑧⑨ 10/1号、2/16号(各9,300枚) ⑩ 12/1付で全戸配布 ⑪ 2/1、2/8、2/15、2/22開催参加者数 51人 ○ 出前講座の開催 3回(11/9、12/11、2/13)	廃棄物対策課
3-1		樹木の剪定等	廃棄物の減量と資源再利用の促進	剪定された樹木等のリサイクル化を図る。	剪定樹木の有効利用 ①チップリサイクル化の推進 ②燃料としての使用	有効利用100% ①剪定木をチップリサイクル化 ②剪定木を燃料としての使用	◎	都市公園、児童公園等の剪定木をチップ化、堆肥化し、花壇に利用した。 (9月 2,250kg、10月 113kg、11月 525kg、12月 375kg、1月 338kg、2月 2,587kg、3月 337kg) 総てチップ化	公園緑地課
3-1		住宅耐震補強補助事業	住宅の耐震補強をすすめることにより建築物の寿命を延ばし、解体に伴う廃棄物を削減する。	建築物の耐震化により災害に強いまちづくりを進めます。	・市広報・行政チャンネル等でのPR ・補助件数12件(予定) ・精密診断結果に対し、個別説明により事業をPRする。	補助件数	○	・住宅耐震補強補助金10戸 精密診断実施者へのアンケート(県) 事務所協会主催の耐震相談会への一斉通知 H25からの補助要綱改正(補助額の増額)	建築指導課

環境基本計画基本目標			地域資源を活かし地球にやさしいまち						
環 境 保 全 項 目			地球温暖化防止活動を推進する						
環境基本計画	No	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
3-2		交流・文化施設整備事業	環境にやさしい施設づくり	環境負荷の少ない施設建設を行う	・施工者の選定	・総合評価方式による施工者の選定 (評価項目に環境への配慮項目を追加)			交流・文化施設建設準備室
3-2		農村環境改善センターの維持管理	施設利用者の安全と電気・水道・暖房等の使用量の抑制を図る	エコオフィスうえだに基づき、地球環境の保全に取り組む	①事務室内温度、冬20℃・夏28℃に設定 ②センター利用者へのエコオフィスのPR ③水曜日の資源回収時の指導 ④コピー用紙の両面使用の推進	電気使用量50,000KWh、水道使用量350㎡、A重油使用量7,000ℓ、灯油使用量2,000ℓ、LPG使用量60㎡、コピー使用量25,000枚、可燃ごみ排出量100kg	○	①コピー用紙使用量 17,541枚 ②電気使用量 47,927kW ③灯油使用量 1,584ℓ ④A重油 6,000ℓ ⑤水道使用量 328㎡ ⑥LPGガス使用量 64㎡ ⑦可燃ごみ排出量 100kg	豊殿地域自治センター
3-2		塩田地区有線放送所の局舎解体、及び外部線路設備撤去工事に係る諸調整	環境にやさしい撤去工事を推進する	環境負荷の少ない、地球環境に配慮した撤去工事	塩田地区有線放送所の局舎等解体、及び外部線路設備撤去工事に係る諸調整		○	・塩田地区有線放送所の放送局舎等解体工事は6月末で完了(諸調整終了) ・外部線路設備撤去工事は現在継続中	塩田地域自治センター(塩田地区有線放送所)
3-2		職員の管理に関すること	エコオフィスの推進	ノー残業デー、19(育児)の日、クールビズの普及促進によるエコオフィスの推進	・ノー残業デー(水曜日) ・19(育児)の日(毎月19日) ・クールビズ(5月14日～10月31日)	・実施状況の把握	◎	・ノー残業デー(水曜日)、19(育児)の日(毎月19日)の掲示板による周知 ・クールビズ(5月14日～10月31日)実施	人材開発課

環境基本計画基本目標			地域資源を活かし地球にやさしいまち																																						
環境保全項目			地球温暖化防止活動を推進する																																						
環境基本計画	No	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課																																
3-2			コピー用紙の削減による環境配慮	本庁及び教育委員会のコピー用紙の削減	・市役所全体で業務量が増加しているため、コピー用紙の購入枚数が増加傾向にある。 ・一定の削減はできたものの、引き続き、文書担当者会議、庁内LANなどで節減について、周知を図っていく。	平成24年度 9,000,000枚	◎	◆4～3月分合計：8,016,500枚 4月：670,000 10月：754,000 5月：822,000 11月：568,000 6月：627,500 12月：672,000 7月：706,500 1月：609,000 8月：562,000 2月：699,000 9月：610,000 3月：716,000	行政管理課・行政改革推進室																																
3-2			コピー用紙の削減による環境配慮	コピー用紙の削減によるエコオフィスの推進	諸会議のペーパーレス化を図る。	平成23年度 55,000枚	◎	コピー（枚数） 合計51,489枚 4月 4,038枚 10月 5,486枚 5月 2,890枚 11月 5,100枚 6月 2,309枚 12月 2,440枚 7月 3,636枚 1月 9,875枚 8月 4,013枚 2月 3,559枚 9月 6,013枚 3月 2,130枚	危機管理防災課																																
3-2		電子申請の利用拡大	エコオフィスの推進	市民からの申請業務及び内部業務での利用拡大	各課業務調査の実施及び啓発	電子申請業務数 27業務	△	3月末までの申請件数は、1,430件（月平均120件）であった。これは利用者が、観光パンフレットを電子申請による方法から、ホームページからダウンロードして入手する方法へと変わりつつあるためであるが、全体の業務数は27件と昨年より5件増加できたことから、引き続き、電子申請による業務数を増やしていく。	情報推進課																																
3-2		予算編成	①望ましい環境像の実現を支える行財政運営 ②エコオフィスの推進	環境に配慮しつつ、効率的な行政経営を目指した予算編成	①選択と集中による効率的・効果的な行政経営を目指した予算編成 ②環境基本計画（望ましい環境像）の実現に向けた施策への予算配分 ③予算編成事務の効率化	①効率的・効果的な行政経営 ②環境基本計画（望ましい環境像）の実現に向けた施策実施 ③持続的で安定的な財政基盤の確立 ④予算編成事務量の削減	○	○不要電灯の消灯の徹底、資源の有効利用 ○平成24年度における環境施策（予算額） ・新エネルギー活用施設設置費補助金（45,000千円） ・環境保全型防犯灯(LED)設置補助金（56,200千円） ・太陽光発電施設設置 ・上田 道と川の駅（17,000千円） ・交流・文化施設（59,000千円）等	財政課																																
3-2		庁舎管理	地球温暖化対策	地球を守る	・電気量の削減 ・燃料使用量の削減 ・コピーの使用枚数の削減	・前年度の使用量より削減	△	<table><tr><td></td><td>23年度</td><td>24年度</td><td>差引(24-23)</td></tr><tr><td>ガソリン</td><td>66,662</td><td>67,385</td><td>723</td></tr><tr><td>灯油</td><td>3,506</td><td>5,665</td><td>2,159</td></tr><tr><td>軽油</td><td>13,616</td><td>14,364</td><td>748</td></tr><tr><td>A重油</td><td>53,000</td><td>54,000</td><td>1,000</td></tr><tr><td>都市ガス</td><td>43,200</td><td>48,298</td><td>5,098</td></tr><tr><td>電気</td><td>1,508,921</td><td>1,500,384</td><td>-8,537</td></tr><tr><td>コピー</td><td>20,581</td><td>21,848</td><td>1,267</td></tr></table>		23年度	24年度	差引(24-23)	ガソリン	66,662	67,385	723	灯油	3,506	5,665	2,159	軽油	13,616	14,364	748	A重油	53,000	54,000	1,000	都市ガス	43,200	48,298	5,098	電気	1,508,921	1,500,384	-8,537	コピー	20,581	21,848	1,267	公有財産管理課
	23年度	24年度	差引(24-23)																																						
ガソリン	66,662	67,385	723																																						
灯油	3,506	5,665	2,159																																						
軽油	13,616	14,364	748																																						
A重油	53,000	54,000	1,000																																						
都市ガス	43,200	48,298	5,098																																						
電気	1,508,921	1,500,384	-8,537																																						
コピー	20,581	21,848	1,267																																						
3-2		税務業務の効率的運営	eL-TAXサービスの拡充の取り組みとエコオフィスの推進	eL-TAXサービスの拡充による業務の改善及び市民サービスの向上とエコオフィスの推進	利用事業主、税理士への通知の送付や広報うえだ、市のホームページ・行政チャンネル等を活用したeL-TAXの利用推進。	申告におけるeL-TAXサービスの利用件数割合 法人市民税 45% 給与支払報告書 30% 償却資産 10%	○	1月から電子申告が集中するため、10月から事業者、税理士等にeL-TAX利用の推進チラシ等を配布した。 eL-TAX利用により、事務の効率化が図られた。 4月～3月のeLTAXサービスの状況 法人市民税（全体：5,834件）2,583件 給与支払報告書外（全体：7,876件）2,241件 償却資産（全体：6,078件）607件 国税連携26,852件	税務課																																
3-2		印刷物の見直し	印刷物の数量、印刷内容の見直しによる環境負荷の低減	印刷物の発注に当っては、常に仕様内容を検討する。	・各種印刷物の作成	・発注数量（概ね1年間の必要量を発注する） ・紙面の有効活用（利用者に分かりやすい紙面への工夫を図る）	○	発注に当たっては、在庫の継続利用の可能性を常にチェックし、必要に応じての発注に努めた。なお、内容の陳腐化により、どうしても利用できない在庫はリサイクル処理とした。	市民課																																
3-2		新エネルギー活用施設（太陽光発電・太陽熱利用施設）設置補助	エネルギーの有効利用	新エネルギー・省エネルギーに関する補助や情報提供を進めます。	新エネルギー活用施設に対する補助金交付	目標 543件（上田地域のみ）	◎	平成24年度3月末で、上田地域では638件の補助を行った。	生活環境課																																
3-2		雨水貯留施設設置補助	水資源の保全	雨水貯留施設に関する補助や情報提供を進めます。	雨水貯留施設に対する補助の実施	補助金交付件数 25件	◎	平成24年度実績は、上田では24件の補助を行いました。	生活環境課																																

環境基本計画基本目標			地域資源を活かし地球にやさしいまち						
環 境 保 全 項 目			地球温暖化防止活動を推進する						
環境基本計画	No	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
3-2		エコオフィスをうえだ（上田市役所地球温暖化防止実行計画）の推進	地球環境の保全・行政の率先行動	市役所庁舎内などの市の活動に伴う温室効果ガスの排出量抑制を推進します。	「第二次上田市役所地球温暖化防止実行計画」の推進を図る。	全庁舎の温室効果ガス総排出量	◎	夏及び冬の節電対策を行うことにより、上田地域における電気使用量は前年度より削減することができた。紙のリサイクルについては、分別状況が悪化している様子がうかがえる。エコオフィスの取組みは定着してきているものの、形骸化も見受けられる。	生活環境課
3-2		市営住宅の管理	①環境負荷の低減（口座振替の推進、入居者への環境啓発）	事務事業の効率化と環境啓発	①全入居者通知の機会（年2回）に口座振替利用の奨励と環境啓発文を掲載	口座振替率 87.00%以上			住 宅 課
3-2			印刷物・コピー用紙の削減による環境配慮	印刷物・コピー用紙の削減		24年度コピー枚数 180000枚	△	・制度の変更や拡大に伴い、コピー枚数が増加した。 ・財務会計システムの変更に伴い、コピー枚数が増加した。	福祉課
3-2		環境への負荷の低減に係る啓発事業	利用者への環境負荷低減活動の啓発	エコオフィスをうえだ推進活動のPRと啓発を兼ねた館内掲示	地球環境保護意識の高揚と同時に点字図書館のランニングコスト削減のため「上田市役所地球温暖化防止実行計画」に基づく環境負荷の低減活動のPRと協力を兼ねた啓発（館内掲示）を行う	地球環境保護意識の高揚と同時に点字図書館のランニングコスト削減のため「上田市役所地球温暖化防止実行計画」に基づく環境負荷の低減活動のPRと協力を兼ねた啓発（館内掲示）を行う	◎	7月館内掲示	点字図書館
3-2		国民健康保険、高齢者医療保険、国民年金の各事業全般にわたる事務事業	エコオフィスの徹底による環境への配慮	節電、コピー用紙、紙ごみの削減	コピー用紙の削減化 ・裏紙、2in1コピーの活用 ・リサイクルの徹底による可燃ごみ排出の抑制	24年度のコピー枚数目標 116,000枚（22・23年度平均値）	◎		国保年金課
3-2		太陽光発電設備の設置	新エネルギー事業の推進及び環境教育の推進	公共施設における太陽光発電の導入を促進し、併せて環境意識の啓発を治図る	保育施設の改築建替えに伴う太陽光発電設備設置を検討する	設備設置の園数（今後改築や建替えをする全施設への設置を目指す）	◎	神科第一保育園建替事業の基本設計において、太陽光発電設備を設置する方針を確認した。	保育課
3-2		「新技術等開発事業」助成金	廃棄物の減量と資源再利用の促進エネルギーの有効利用	環境にやさしい「新技術等の開発」を行った業者に対し応援します。	事業者への補助事業制度の周知を事業所訪問で行う。	事業所訪問で説明20件（制度の主旨・目的）	○		商工課
3-2		コピー用紙の削減及び可燃ごみの減量について	エコオフィスの推進	コピー用紙の削減及び可燃ごみの減量の普及促進によるエコオフィスの推進	コピー用紙の削減及び可燃ごみ減量の促進	コピー用紙の削減については、前年度を下回るよう周知徹底する	○	下半期のコピー用紙の削減については9,739枚、年度の合計枚数は19,600枚と前年度を下回らなかったものの、ほぼ横ばいの結果となった。 また、可燃ごみ減量については、リサイクル、分別を徹底し、可燃ごみの減量努めた。	雇用促進室

環境基本計画基本目標			地域資源を活かし地球にやさしいまち						
環 境 保 全 項 目			地球温暖化防止活動を推進する						
環境基本計画	No	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
3-2		池波正太郎真田太平記館の管理運営	①利用者への環境啓発 ②エコオフィスの推進(一人当りの電気・水道量等の削減)	電気等の節減と入館者数の増加(環境啓発とエコオフィスの推進)	①環境啓発に関するポスター等の掲示 ②入館者増加により、一人当りの光熱水費の抑制 ③光熱水費の節減(節電の徹底、施設内の適正な温度管理) ④来館者向け環境啓発の具体的取組み検討	①②入館者数年間3万人以上。一人当りの電気量5kwh以下。	○	・閉館後の消灯等節電、施設内の適正な温度管理等に取り組んだことにより、前年度と比較し、年間の電気使用量を約11％削減した。 ・年間の入館者数が、前年度より4,449人増加し目標値を達成したことで、入館者一人当りの電気量も目標値をほぼ達成した。	池波正太郎真田太平記館
3-2		財務会計事務の改善	環境に配慮した事務事業の改善	財務会計事務の向上による紙使用量の削減を図る。	①例年実施する研修会の開催 ②不適正帳票率の最小化 ③支払伝票の削減	・不適正帳票率・・・4.0% ＊新しい財務会計システムへの移行により、一時的に不適正率が高くなると予想される。	◎	・新任担当者対象研修会 5/30実施 参加者38名 ・財務会計システム研修会 6/4実施 参加者36名 (小中学校事務職員対象) ・財務会計事務担当者研修会 7/23・24実施 参加者76名 ②不適正帳票の結果 ・H24.5月調査 … 不適正帳票率7.4% ・H25.1月調査 … 不適正帳票率6.3% 1.1%の改善を達成	会計課
3-2		小中学校改築事業	地球温暖化防止活動の推進	環境にやさしい学校づくり(太陽光発電システムなどの導入検討)	清明小学校への太陽光発電システムの導入	太陽光発電システム(10Kwh)の設置	◎	清明小学校屋内運動場改築事業にあわせて、太陽光発電システムの設置工事を3月26日に完了した。	教育総務課
3-2		給食の調理及び配送	廃棄物排出量の抑制	環境にやさしい給食作りと配送業務(食品残渣の減少とBDF燃料の利用)	①おいしい給食づくり ②配送車にBDFを利用 ③地産地消(地元産農産物の使用) ④残菜量の削減	①指導委員会における意見集約 ②BDFの利用量 ③地元産農産物の使用量 ④残菜量の調査・減量指導、畜産飼料への活用	◎	順調に推移できた。 特に食品残渣については昨年度よりも減少することができた。指導委員会や学校訪問などの活動の成果と考えられる。	第一学校給食センター
3-2		給食業務の環境への取り組み	食品廃棄物の抑制と再利用	環境にやさしく、安全で安心なおいしい給食づくり	①食品残渣減少の取り組み(残菜調査、学校訪問、児童・保護者へのPR) ②食品残渣の飼料としての利用 ③地元産産物の使用 ④BDF燃料の使用量	①② 食品残渣の発生量 ③ 地元産農産物の使用量 ④ BDF燃料の使用量	◎	高学年への学校訪問は回収業務を兼ねて実施したので14校すべてに行くことができた。 残渣量はインフル欠食が多数あり多目だったが、年間を通じてみると少なかった。 BDF燃料については、思うように伸びなかった。 地元農産物については、使用量が増加している。 浦里小を受け入れたため、燃料・電気・水道など作業時間が長くなったため、多くなった。	第二学校給食センター

環境基本計画基本目標			地域資源を活かし地球にやさしいまち						
環 境 保 全 項 目			地域資源を有効利用する						
環境基本計画	No	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
3-3	44	ホームページ、QRコードを使用した観光案内	地球環境の提言を考えた観光案内をします。	ホームページ、QRコードを積極的に使用した観光案内を行う。	パンフレット・ポスター全てにQRコードを入れる。	総合パンフレットには総合版、ダイジェスト版の2種類があり、その全てにQRコードを入れる。			観光課
3-3	66	施設建設事業	資源を活かした公共工事を推進する。	建設工事にあたり、環境に配慮した計画・設計及び工事施工に努める。	1計画・設計における環境配慮 2工事施工における環境配慮	別紙様式G1のとおり	○	報告対象となる2,000万円以上の事業16件について目標の100%を達成した。	建築課

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすまち							
環 境 保 全 項 目		歴史・文化を未来に引き継ぐ							
環境基本計画	N ^o	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
4-1		文化財の保存・整備	指定文化財の保存・整備に努めるとともに指定文化財の増加に努める。	文化財の調査・指定・保存・活用・後継者育成	指定文化財及び歴史的建造物の国の文化財原簿への登録の推進	文化財及び歴史的建造物の国の文化財原簿への2件以上の登録	○	文化財保護審議会を開催し、文化財の指定について諮問物件についての審議を行った。	文化振興課
4-1		環境への負荷の低減に係る啓発事業	歴史・文化を未来に引き継ぐ。地域の歴史・文化・誇りを次世代に伝える。	利用者への環境啓発（掲示）・事務の効率化の推進	「上田市役所地球温暖化防止実行計画」に基づく環境負荷の低減活動のPRと協力を兼ねた啓発（館内掲示）を行う。事務の効率化（納付書の活用）を図る。		◎	使用料総額 9,646,584円内 納付書納入額 7,837,878円 割合 81.3%	市民会館
4-1		博物館の運営	歴史・文化を未来に引き継ぐ	歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出	①博物館講座ほか左記のとおり ②観覧券・しおり・ポスター・チラシ等の作成に際して古紙配合紙・大豆油インクを使用する。	①来館者数 ②冊子を除く印刷物に古紙配合紙・大豆油インクを使用する（100%）	◎	・企画展、講座、史跡見学会を計画どおりに実施した。 ・入館者は、引き続き歴史ブームの中で推移している。	博物館
4-1		博物館の運営	歴史・文化を未来に引き継ぐ	歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出	①茶道教室ほか左記のとおり ②しおり・チラシ等の作成に際して古紙配合紙・大豆油インクを使用する。	①来館者数 ②冊子を除く印刷物に古紙配合紙・大豆油インクを使用する（100%）	◎	・企画展、教室等を計画どおりに実施した。	武石ともしび博物館
4-1		記念館の運営	歴史・文化を未来に引き継ぐ	歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出	①美術教室ほか左記のとおり ②しおり・チラシ等の作成に際して古紙配合紙・大豆油インクを使用する。	①来館者数 ②冊子を除く印刷物に古紙配合紙・大豆油インクを使用する（100%）	◎	・美術教室、展覧会など計画どおりに実施した。	山本鼎記念館
4-1		信濃国分寺資料館の運営	歴史・文化を未来に引き継ぐ	①歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出 ②環境にやさしい施設運営（リサイクルを推進し廃棄物の減量を図る）	①史跡見学会ほか左記のとおり ②公園の剪定された樹木のチップ化、落ち葉の腐葉土化など	①来館者数 ②リサイクル率100%	◎	・来館者は、4月～2月までに6,015人であった。 ・講座等も予定どおりに実施された。	信濃国分寺資料館

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすまち							
環 境 保 全 項 目		緑あふれるまちをつくる							
環境基本計画	N ^o	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
4-2		公園の建設	緑あふれるまちをつくる	公園の整備を促進する。	① リバーサイド街区公園整備 0.11ha ② 桜堤整備工事 ③ 上田城跡公園バリアフリー化工事 園路舗装	旧上田地域の一人当たり都市公園面積を13.52㎡/人とする。	○	・桜堤整備工事は、工事用資材の調達に不測の日数を要し、工事の完了が4月上旬となった。 ・リバーサイド街区公園及び上田城跡公園バリアフリー化工事は、他工事との工程調整等に日数を要し発注時期が遅れたが、年度内に完了した。	公園緑地課
4-2		花と緑のまちづくり推進事業の実施（1）	緑あふれるまちをつくる	緑化の推進	花苗配布 127,000本 ① ②	地域自治会等に配布する花苗本数（127,000本）	◎	・10月に実施した秋花苗配布は、ビオラの苗60,860本で、年間135,659本を配布し、目的、目標を達成できた。	公園緑地課
4-2		花と緑のまちづくり推進事業の実施（2）	緑あふれるまちをつくる	緑化の推進	・花の種銀行 口座開設者数 764人 ① ・種から育てる花づくり講習会の開催3回 ②③④	・花の種銀行会員数（延べ口座開設者 770人） ・花づくり講習会 開催回数 年間3回	◎	・種から育てる花づくり講習会（花を知ろう！編）を3月に開催し、目標どおり年間3回開催した。 ・花の種銀行の口座開設者は、3月末現在で771人となった。	公園緑地課
4-2		緑地の保全（染屋台グリーンベルト保全事業）	緑あふれるまちをつくる	緑地の保全	里山整備ボランティア 年7回	市街地近郊の貴重な自然環境を形成している染屋台グリーンベルトを環境保全（地球温暖化防止、ヒートアイランド現象の緩和）の面から積極的に保全をする必要があることから、上記事業を実施し、市民の理解を深める。	◎	・里山整備ボランティアは、9月1回、10月1回、計2回実施し、年間7回実施した。	公園緑地課

環境基本計画基本目標			歴史や調和を大切にすまち						
環 境 保 全 項 目			調和のとれた美しい景観を保つ						
環境基本計画	No	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
4-3		環境美化活動	うるおいやゆとりある都市空間の形成	地域美化活動を推進します	・広報・庁内掲示板への掲載 ・ゴミゼロ運動の実施(県下一斉に年1回) ・環境美化監視員によるパトロール・ポイ捨て防止チラシを配布(成人式) ・河川清掃 年2回 ・河川愛護活動の実施	・主要河川の清掃実施(春・秋2回) ・下排水路の清掃実施(春・秋2回) ・ゴミゼロ運動の参加者人数 10,000人 ・河川活動をした団体数 52団体 ・環境美化監視員によるパトロール回数 月3回 ・ポイ捨て防止啓発チラシの配布 最低1回	◎	・河川パトロールを予定通り年2回実施(一斉河川パトロールを延べ26河川104ヶ所で実施しました。(6月、11月))。 ・ゴミゼロ運動参加人数は、14,988人でした。 ・環境美化監視員の平成24年度の活動回数は43名合計で1399回でした。	生活環境課
4-3		犬猫の糞尿害対策	うるおいやゆとりある都市空間の形成	犬猫の糞尿害等に対する対策を推進します。	犬猫の正しい飼育方法の周知 自治会による周知・看板設置の協力依頼(随時)	苦情件数 50件以下	○	自治会回覧により広報を行いました。平成24年度は、昨年度に比べ苦情の件数は減少していますが、今後も飼い主のマナーの向上の啓発に努めます。	生活環境課
4-3		放置自転車の撤去及び処分	環境にやさしい都市基盤・都市施設の整備	上田駅周辺の放置禁止区域における自転車等の駐車をなくします。	放置禁止区域における警告書の貼付	放置自転車撤去件数 年400台以下	◎	警告書貼付 2,155件 撤去件数 303件	管理課
4-3		歩道のバリアフリー化	調和のとれた美しい景観を保つ	歩道のバリアフリー化を推進します。	・歩道新設 L=1,500m ・繰越分の早期完成を目指し、本年度分の早期発注に心がける。	・工事の完了実績による。	○	L=2,000m目標の内、1,250m	土木課
4-3		景観形成事業	緑あふれるまちをつくる	生垣設置の補助を行い、緑化の推進を図ります。	・市広報、行政チャンネル等でのPR ・補助件数15件(予定)	・補助金を出した生垣の延長(本年度延長150m)	◎	・申請件数17件 ・生垣総延長168.4メートル ・交付決定額716,009円	都市計画課
4-3		景観形成事業	調和のとれた美しい景観を保つ	景観形成市民団体等の認定	アダプトシステム協定を取り交わす地域住民団体等の検討	景観形成市民団体数、及びアダプトシステム協定箇所数(各1)	△	・協定数0	都市計画課
4-3		景観形成事業	調和のとれた美しい景観を保つ	住民協定の締結を推進し、優れた街なみの形成を図ります。	住民協定締結の誘導に向け地区の検討	認定数(1)	△	・認定数0	都市計画課
4-3		景観形成事業	調和のとれた美しい景観を保つ	市民・事業者に対する景観づくりの意識啓発をします。	景観ウォッチングの実施 2回	景観ウォッチングの実施回数(2回)	◎	・11月3日(土)武石地域で実施。 参加者14人。 ・3月25日(土)別所地域で実施。 参加者34人。	都市計画課
4-3		景観形成事業	上田市景観計画の策定	良好な景観の形成及び保全を推進するため、上田市景観計画を策定します。	・景観審議会、都市計画審議会、パブリックコメント、住民説明会により素案の審議。 ・景観条例の改正 ・景観計画の策定	今年度の事業の具体的な施策や手段の進捗状況	◎	・都市計画審議会、景観審議会を実施した。 ・上田市景観条例を改正した。 ・上田市景観計画を策定し、改正景観条例の施行と併せて発効した。	都市計画課

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち							
環境保全項目		環境にやさしい人を育む							
環境基本計画	No	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
5-1		地域福祉の調整及び推進に関すること	環境教育の推進	地域内の住民や各種団体に向けた環境啓発等の推進	①毎水曜日のリサイクル回収(ピン・缶)時での啓発。 ②地域協議会における地域(環境)課題に対する対応。 「わがまち魅力アップ応援事業」の受付 ③自治会要望の取りまとめと本庁との調整(環境関連) ④窓口での転入者等へのゴミ回収等の指導	①リサイクル回収の回数 ②環境活動や啓発の数等	○	・地域協議会における地域課題については、専門部会で検討を行い、最終的に意見書まで、支援対応している。 ・「わがまち魅力アップ応援事業」については、大幅な改正がありました。自治会等を通じて周知を行い、申請受付を行いました。 ・自治会要望の取りまとめについては、USBメモリと併用して、とりまとめ、迅速に本庁と連絡調整を行い、現場の立会調査を実施した。 ・窓口での転入者等へのゴミ回収等について、パンフレットをお渡ししながら説明を行った。	川西地域自治センター
5-1		女性団体の育成・支援や講座の主催	環境教育の推進	環境に対する意識の啓発を図る	1 住民環境啓発 2 エコ料理講座の開催 (地産地消や料理法の工夫による廃棄物の抑制) 3 団体の活動の育成・支援	エコ料理講座の満足度90パーセント以上	○	9月から11月にかけておこなった料理講座「トライかんたん英語でアフリカ料理」「あつという間に元気回復料理」「料理の基本」で、生ごみの出し方、ごみの減らし方などを学習する機会を設けた。	人権男女共同参画課
5-1		うえた環境市民会議に関する事務	パートナーシップの構築	うえた環境市民会議を開催し、市民、事業者、行政とのパートナーシップにより環境改善活動を推進します	うえた環境市民会議の開催	環境改善活動への支援・協力活動が円滑にできること	◎	11月～3月企画運営会議(4回) 10月体験学習(駅前清掃) 10月うえた環境フェア参加 10月環境視察研修 11月環境講演会 3月学習会	生活環境課
5-1		環境教育の推進	環境を思いやる人があふれるまちを目指します	保育園・小中学校・家庭・地域での環境教育・環境学習活動へ支援・協力をします	こどもエコクラブの周知及び登録クラブへの支援・協力 こどもエコガイドの配布(小学4年生対象) 保育園・学校・地域への環境教育等の支援・協力 環境家計簿 アイドリング・ストップ運動の推進		○	・小学4年生を対象に学校をととしこどもエコガイドを配布。各学校において環境教育をしていただきました。 ・7～9月に環境家計簿へ取組んでいただけるよう、広報等で市民に呼び掛けるとともに、公立保育園、幼稚園の年長児家庭に取り組んでいただけるよう、配布しました。 ・こどもエコクラブへの参加団体が減少していることから、保育園や学校を通じて登録を呼びかけた。	生活環境課
5-1		環境にやさしい保育園づくり	環境教育の推進	保育園での環境教育・環境活動を推進し、環境に対する意識啓発を図る	「ばっくん」を使い、生ごみを土に還す事を環境教育として推進する。	搬出生ごみの減量 堆肥として菜園等での利用 園児・保護者が興味を示すこと	◎	「ばっくん」を使い、給食調理に伴う生ごみの一部を堆肥化した後に、それを菜園に還すことにより、循環型社会を目指す環境教育を推進した。	保育課
5-1			水環境の保全を図る	水環境の保全のための啓発活動を行うと共に、保全活動も行う	住民環境啓発		○	・うえた環境フェアに出展し、水環境の保全を啓発した。 ・油流出事故防止啓発ビラ配りを実施し、住民の方に注意喚起した。	経営管理課
5-1		環境にやさしい学校づくり事業	環境にやさしい人を育む	学校での環境教育・環境学習活動を推進します	光熱水費削減の取り組み結果を評価し、環境教育の推進に資するための予算を各学校へ追加配当する。	・光熱水費の削減量 ・学校ISO計画を全小中学校で作成し、実行する	○	光熱水費削減状況による、消耗品予算の再配当が例年に比べやや遅くなってしまった。	学校教育課
5-1		学童農園事業	環境にやさしい人を育む	学校での環境教育・環境学習活動を推進します	・児童による田植えは、協力者、地方事務所の指導による手植え。 ・夏場はあぜ等の草取りを中心に田の管理を行う。 ・収穫は手刈りで行い、はぜにかけ天日乾燥する。 ・脱穀、わらまき等も児童が主となって行う。 ・収穫祭に協力者を招き、全員で収穫を祝う。	・上田地域小学校(16校)の5年生1,186人 ・平成24年度の耕作面積16,210㎡(保全農地面積)	◎	上田地域の小学校では、予定通りに収穫祭まで終えることができた。	学校教育課
5-1		Y A っ H O ー の発行	環境問題などについて掲載し、子どもや親の意識啓発	環境記事・情報を年1回以上掲載する。	記事・情報として、環境問題などについて掲載し、子どもや親への意識啓発の機会とする。	環境記事・情報を年1回以上掲載する。	◎	予定どおり10月31日に44号(17,000部)、予定より少し遅れたが3月10日に45号(17,000部)を発行した。 やまぼうし自然学校の各種行事等をイベント情報として紹介した。	生涯学習課

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち							
環 境 保 全 項 目		環境にやさしい人を育む							
環境基本計画	No	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
5-1		自然活動体験教室事業	川遊びやキャンプを通じて、身近な自然とのふれあい	自然体験活動事業を年3回実施する。	千曲川、市民の森等での川遊び、野外体験活動を通じて、市民に身近な自然とのふれあいを体験してもらう。	自然活動体験事業を年3回開催する。	○	下半期に予定していた事業は予定どおり1回実施できた。 全体として自然体験事業は3回の目標に対し2回実施できた。 [参加状況] ウグイの放流：9育成会、32名	生涯学習課
5-1		地域青少年育成指導者養成講座	子ども向けのレクリエーションや野外体験活動などの指導者を養成する。	ネイチャージェーム、野外活動全般の講習会等を年5回以上開催する。	青竹クレーン作り、自然観察、安全講習、登山、キャンプ実習の各講座を開催する。	自然体験活動全般の講習会等を年5回以上開催する。	◎	自然体験活動全般の講習会を予定どおり5回実施できた。 [参加状況] 延べ57名	生涯学習課
5-1		各種講座・里山づくり支援	地域における環境保全活動及び住民への環境啓発の推進	市民の環境に関する意識の啓発を図っていく。	1 環境教室の実施 ・旬の野菜を使った料理教室（年12回） ・自然に親しむ講習会（年4回） ・太郎山自然観察会（年2回） ・エネキ・ビジョン講座（年4回） 2 団体等への支援 ・里山づくり支援事業（年6回）	すぐに効果は期待できないが、住民の環境に対する意識を高める。	◎	・太郎山虚空蔵山縦走路トレング（2回） ・太郎山虚空蔵山縦走路整備整備（2回） ・太郎山し ・太郎山虚空蔵山縦走路整備連絡会山岳講演会（1回） ・自然に親しむ講習会（5回） ・里山講座（7回） ・子供自然遊び講座（7回） ・季節に合わせた料理教室（6回）	西部公民館
5-1		公民館各種講座事務	環境教育の推進	自然観察をテーマとする講座を開催し、市民の環境問題に対する意識の啓発を図る。	自然観察をテーマとした講座の開設：3講座 「公民館だより」を中心に参加者を募集 その他環境関係に関する講座の開催	開催講座数 参加者の満足度		9月19日（水）草津芳ヶ平湿原で自然観察会を実施した。30名の参加があり環境問題に関する意識の向上を計った。10月24日（水）立科横谷峡で自然観察会を実施した。30名の参加があり環境問題に関する意識の向上を計った。	城南公民館・解放会館
5-1		公民館各種講座事務	環境教育の推進	環境問題に関する講座を開設し、市民の環境に関する意識の啓発を図ります	自然観察講座 4回 野鳥観察講座 2回 水生生物観察講座 1回 工作教室 2回 人生いきいき講座4回	青少年・成人教育で環境に関する講座を開催し、環境に対する意識を高める 目標講座数 延べ13講座 参加者数 200人	◎	各講座を予定どおり実施しました。人生いきいき講座では、洋服のリフォームを行いました。また、12月に、ナチュラルクリーニング講座、1月にLEDを使った工作教室を開催しました。受講者は延べ127人	上野が丘公民館
5-1		地域デザイン講座① 「地域に緑の連続性を」	環境教育の推進	環境問題に関する講座を開催し、市民の環境に対する意識の啓発を図ります。	①「塩田に適した植栽とプロが教える花の育て方〜地域に緑の連続性を〜」と題し、この土地の気候、風土に適した植栽や緑の連続性との関係を知っていただく。 ②自然環境の大切さを知り、地球温暖化防止への第一歩にしていいただく。 ③里山講座を行う。	①参加者延べ人数 1講座30人 ②参加者の満足度 70% 参加者アンケートの結果から	◎	本講座は本年度「農ある里山暮らしのすすめ講座」としてリニューアルをした。本講座をとおして述べ300人の方に、農の大切さ、また、里山との係りを学んでいただき環境に対する意識の啓発ができた。	塩田公民館・解放会館
5-1		「夏休み川遊び in 神川」	未来を担う子どもたちに対し環境の大切さを伝える。	清流のすばらしさ、自然環境の大切さを、子どもたちの記憶に残す。	信州上田千曲川少年団、NPO法人信州いわなの学校等の市民団体と一緒に、塩田平に関係深い千曲川の支流・神川で、遊びながら川に親しみ清流のすばらしさ、自然環境の大切さを感じてもらい記憶に残る機会とする。	①参加者延べ人数 1講座30人 ②参加者の満足度 70% 参加者アンケートの結果から	◎		塩田公民館・解放会館
5-1		「災害発生！夏休みサバイバル訓練！」	未来を担う子どもたちに対し環境の大切さを伝える。	自然環境の大切さを、子どもたちの記憶に残す。	①「災害発生！夏休みサバイバル訓練！」と題し、公民館を避難所と想定し、避難所体験をする。 ②その中で、川等の水から飲み水を確保する訓練を通じて水の大切さを知る。 ③真っ暗な中で手作りランプで過ごし明かりの有難さを感じてもらい地球温暖化防止への一歩とする。	①参加者延べ人数 1講座30人 ②参加者の満足度 70% 参加者アンケートの結果から	△	諸事情により中止となりました。	塩田公民館・解放会館
5-1		しおだっ子自然観察ツアー「冬の菅平高原でスノーシューハイキング」	未来を担う子どもたちに対し環境の大切さを伝える。	自然の厳しさ、豊かさを知り自然環境の大切さを子どもたちの記憶に残す。	信州上田千曲川少年団、NPO法人信州いわなの学校等の市民団体と一緒に、神川の源流、菅平高原で、遊びながら自然に親しむとともに、自然の厳しさ、豊かさを知り、自然環境の大切さを感じてもらい記憶に残る機会とする。	①参加者延べ人数 1講座30人 ②参加者の満足度 70% 参加者アンケートの結果から	◎	雪は少なかったが、スノーシューを利用して雪原を歩くことができた。また、冬の息吹を体験でき、自然環境の大切さを学ぶことができた。	塩田公民館・解放会館

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち							
環 境 保 全 項 目		環境にやさしい人を育む							
環境基本計画	No	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
5-1		公民館各種講座事業	環境教育の推進	環境教育の推進を図り、市民の環境に対する意識の啓発を図る。	1 住民環境啓発 2 講座実施 ① 里山実践講座 6回 定員18人 ② ガーデニング講座 6回 定員20人 ③ 川西こども広場 3回 定員なし ④ 親子自然観察会 1回 定員16人	1 啓発回数 「ひろば」啓発5回 2 講座参加者 延べ人数250人	○	1 住民環境啓発は実施済み 2 講座実施 ① 里山講座 6回 全て実施済み ② ガーデニング講座 4回に変更し実施済み ③ 川西こども広場 3回全て実施済み ④ 親子自然観察会 実施済み	川西公民館
5-1		環境負荷低減の啓発事業	環境教育の推進	啓発活動を通じて環境保全の理解を深める。	6月の環境月間にあわせ小中学校向けに本の紹介、テーマ本展示コーナーに環境関係の本を展示し、市民に啓発する。11月の図書館まつりでは本のリサイクル市などを行い、本の有効利用を図る。		◎	本のリサイクル市の開催 10月 上田図書館 準備した冊数 3630冊持ち帰り冊数 2778冊入場者 335人 11月 創造館分室 準備した冊数 1090冊 持ち帰り冊数 905冊入場者 141人 2月 上田図書館 準備した冊数 2416冊 持ち帰り冊数 1454冊	上田図書館
5-1		環境負荷低減の啓発事業	環境教育の推進	本の紹介及び展示	環境月間中、テーマ本コーナーに環境関係の図書類の展示を行う。 自然エネルギー上小ネットと協働し、環境関係の資料の掲示や個別相談を実施し、また、情報交流会等も開催する。	展示関連本の貸出数・レファレンス数	○	・図書館の資料を利用し、来館者の目にふれやすい場所に環境関係の本を展示し関心を高めることができた。 ・年間を通じ環境に関する本の購入を進めた。（「資源と環境の経済学」他12冊） ・自然エネルギー上小ネットと協働し、情報スタンド「エネルギー・カフェ」を設置したり、情報交流会を毎月開催した。 ・長野県環境保全協会と協働し、うちエコ診断を12/15に開催し8人の相談者が来館した。	上田情報ライブラリー
5-1		文化芸術振興事業	チラシ・パンフレット印刷に伴う環境配慮	市民の環境に対する意識の啓発	文化芸術振興事業に関するチラシ・パンフレット等印刷物に環境に対する啓発の文言を加える。	チラシ・パンフレット等印刷物に啓発文言の記載 100%	◎	・マダラヤンマの保護パトロールは9月で終了した。多くのに飛翔がみられた。 高山蝶パトロールは、順調に実施した。	文化振興課
5-1		各種大会等パンフレットの作成	ごみ減量の促進	大会参加者等と協力して、ゴミの減量に努めます。	各種大会等	大会終了時のゴミ残量	◎	各種大会資料、会議資料を2in1や両面印刷するなど削減に努めた。	スポーツ推進課
5-1		自然を守り、環境美化活動	自然を大切にし、環境にやさしい人を育む	利用者への環境啓発	1、周辺の森林下草刈で、樹木の活性化。 2、環境美化啓発。 3、利用しやすい施設及び環境づくり。	①利用者数。 ②水道使用量。 ③灯油量削減。			自然運動公園管理事務所
5-1		環境への負荷の低減に係る啓発事業	利用者への環境負荷低減活動の啓発	エコオフィスうえだ推進活動のPRと啓発を兼ねた館内掲示	地球環境保護意識の高揚と同時に自然運動公園管理施設のランニングコスト削減のため「上田市役所地球温暖化防止実行計画」に基づく環境負荷の低減活動のPRと協力を兼ねた啓発（館内掲示）を行う。	施設利用者数			自然運動公園管理事務所

環境基本計画基本目標			環境を思いやる人があふれるまち						
環 境 保 全 項 目			環境にやさしい地域を育む						
環境基本計画	No	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
5-2		自治会関連事務	環境にやさしいまちづくり	自治会定期送達の各課個別配布は、極力広報うえだに掲載し、各戸配布を回覧にするよう指導する。また、必要回覧数と配布数を常に把握、周知徹底することによる無駄の排除。	1 月2回の庁内への周知徹底 2 配布数、回覧数の変更報告受付 3 配布数、回覧数の庁内周知徹底	◆ 無駄を排除した、適正回覧数・配布数の的確な把握と周知徹底の実施	○	平成24年度年間送達件数（実績）517件 （ただし、配布・回覧数は、目標：398件→実績：389件）上半期は、当初計画どおりのペースで進捗したが、下半期は件数が増えたため、計画目標を上回る結果となった。これは、自治会長宛の送達件数が増えたことが主な理由であり、配布量自体は減少しているため、紙の配布による無駄を省くという環境目標については達成することができた。	市民参加・協働推進課
5-2		地域環境保全活動の推進	自然環境の保全と地域産業との調和	塩田地域における環境啓発の推進	主に自治会単位ごとに環境保全活動を実施。地区自治会連合会等諸団体や行政と連携して活動を推進。	物的効果がすぐに現れることは、取り組む事業により異なるが、市民の意識が環境保全活動に向くことが目標。	◎	・計画した事業は、市、自治会（自治会連合会）等と協議し、順調に推移したが、地域産業（主に農業）との調和（環境保全活動）については、取り組みが薄かった。	塩田地域自治センター
5-2			環境啓発の実施	環境啓発の実施	①広報うえだを活用した環境啓発活動 ②市公式HPを活用した環境啓発活動 ③行政チャンネルを活用した環境啓発活動	①啓発記事のページ数 ②環境関連記事へのアクセス数 ③環境啓発関係の番組数	○	①啓発記事のページ数 ・・・8ページ （紙面に制限があるため、啓発記事掲載はその年度の状況による。） ②環境関連記事へのアクセス数 ・・・2,089アクセス ③環境啓発関係の番組数 ・・・3番組	秘書課
5-2		環境関連情報に関する こと（情報の発信）	環境情報システムの整備	環境関連情報を発信します。	・ホームページの作成・更新 ・広報等へ関連記事を掲載 ・各課の通知文書やチラシ等に、環境関連のマーク・文言を加えるよう、機会をとらえて依頼する。	各種機会を捉え、環境について記事をまとめ、大きく広報に載せる。	◎	広報やHP、行政チャンネル、有線放送などを利用し環境保全に係る情報を発信することができた。	生活環境課
5-2		ISO14001普及啓発	地球環境の保全	ISO14001などの、事業者に対する環境マネジメントシステムに関する情報を提供し、支援します。	うえだ環境ISOネットワーク・長野県環境保全協会上小支部の活動などを通して、企業との情報交換・各種事業の実施	各イベントの際に協力して実施すること	◎	うえだ環境ISOネットワーク及び長野県環境保全協会上小支部との協力により、うえだ環境フェア協力、情報提供・カレンダー・手帳プレゼント・各種会議の際の情報交換を行った。カレンダー・手帳プレゼント会では、プレゼント用カレンダー及び手帳がたくさん集まったほか、プレゼント会への来場者も多く、環境への関心の高さがうかがえた。	生活環境課
5-2		うえだ環境フェア（消費生活展）の開催	廃棄物の減量と資源再利用の促進	各種団体と協力して、廃棄物の減量と資源再利用の促進に努めます。	うえだ環境フェアの開催 10月20日（土）	①来場者数 1,000人 ②アンケートによる来場者満足度 90%以上	◎	入場者数は1,150人であり、目標を達成しました。アンケートでの満足度は90%でした。	生活環境課
5-2		「国際規格審査登録事業」助成金	環境にやさしい地域を育む	ISO1400等をはじめとする国際規格の取得に要した経費を助成することで、市内事業者の環境意識の向上を醸成する。	事業者への補助事業制度の周知を事業所訪問で行う。	事業所訪問で説明10件（制度の主旨・目的）	○		商工課
5-2		天然記念物の保護	天然記念物の保護及び生息地の環境保全に努める	天然記念物の保護パトロールの実施及び生息地の環境保全に対する啓発	天然記念物の保護パトロールの実施及び生息地の環境保全に対する啓発	・天然記念物の増加 マダラヤンマ・ミヤマモンキチョウ ミヤマシロチョウ・ベニヒカゲ等 ・食草であるクロマメノキの保護	◎	市指定文化財のマダラヤンマとその生息地の保護パトロールは、地元のボランティアで予定通り実施した。	文化振興課

環境基本計画基本目標			環境を思いやる人があふれるまち						
環 境 保 全 項 目			環境活動を発信する						
環境基本計画	No	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
5-3		地域映像のデジタル化	地域映像のデジタル化による自然環境保護、歴史・文化資源の保全・活用を啓発する	地域映像のデジタル化による自然環境保護、歴史・文化資源の保全・活用を啓発する	①地域映像をデジタル化しコンテンツ作りをする ②インターネット、地域イントラネット、出前上映会にて地域映像を情報発信する	①地域映像コンテンツ作り 1作品以上 ②HPアクセス数 150,000回以上 ③VODアクセス数 300回以上 ④出前上映会 24回以上			マルチメディア情報センター
5-3		太陽光発電による環境への配慮	太陽光発電による環境への配慮を来館者に周知する	太陽光発電により有害物質を排出しないクリーンなエネルギーが供給できることを来館者に周知する	当センターにある太陽光発電の存在をパネルにより来館者にPRし、太陽光発電では有害物質を排出しないクリーンなエネルギーが供給できることを周知し、環境への配慮を啓発する	①来館者数 36,000人以上 ②社会科見学 10校以上			マルチメディア情報センター
5-3		庁用汎用封筒に係る封筒印刷業務	4 環境情報システムの整備	57 環境関連情報を発信し、グリーン購入の推進と啓発を図る。	会計課印刷による市役所使用封筒に、「再生紙使用」と、「チャレンジ25」のロゴを入れ、市職員の意識の啓発を図ると同時に、上田市の取り組みを広く市民にアピールする。	各種封筒等の必要印刷枚数を一定の指標とする。	◎	庁用汎用封筒等の印刷実績 角1 20,000枚 角2 60,000枚 長3（区内特別） 90,000枚 長3（料金特別） 120,000枚 はがき 24,000枚 合計 314,000枚	会計課